



進路だより

町田市立小山田中学校

2025年9月1日発行

第 11 号

充実した夏休みを過ごせましたか??

■夏の成果は遅れてあらわれる

44日間の夏休み、1学期に立てた予定をもとに自己管理をして、高校見学・勉強・健康維持などに取り組みましたか?この夏休みしっかりと取り組めた人は、定期テスト、実力テストの成果として徐々にあらわれてくることでしょう。努力を怠らず、進路実現に向けてがんばろう。継続は力なり!

残念ながら夏休みを1・2年の時と同じように過ごしてしまった人、計画なく一日一日を送ってしまった人…、中間テストまであと4週間、期末テストまであと2か月半、公立入試まであと5か月しかありません。ダラダラしていると進路が決まる前に卒業を迎えてしまいますよ。義務教育修了後、人生という進路を自分で歩んでいけるよう、今のうちに「**頑張ることができる自分**」を手に入れておこう!

受験まで、定期テストはあと2回 ~テストは有効に活用しましょう~

■自己管理のテスト勉強

2学期の大きなテストの1回である中間テストが、約4週間後となりました。中間テスト前には土曜日の学校公開がありますが、振替休日があるので3連休が2回あります。そのため、勉強時間確保が比較的容易になります。しかしその分、自己管理が重要です。夏休み同様、3連休の学習について学校で時間割を組んでくれるわけではありません。また、塾などに通っている人は、「塾は利用するもので、振り回されるものではない」ことを、そろそろ自覚していきましょう。結局、勉強するのは自分なのです。

■仲間と頑張る!

テストは有効活用するものです。テストを受ける時の態度なども、入試本番を想定してください。「**緊張した中でも実力を発揮する事ができる**」ことを試すには、クラス全員が一丸となってテストに集中して取り組める雰囲気を作ることが大切です。早々とあきらめて机に突っ伏して寝たり、音を立ててみたり、予鈴で準備が完了せずバタバタしてみたり……本人はそれでよくても、その行為はクラスの仲間に対して誠実な態度とは言えません。もちろん自分のためにもなりませんね。みんなで協力して「雰囲気」を作りましょう。

この定期テストがターニングポイントとなる

■定期テストの範囲も入試の範囲の一部

「定期テストの点数が良かった(あるいは良くなかった)」そのような点数だけに一喜一憂するのはいかなるものでしょうか…。もちろん、点数が良いほうが嬉しいのは間違いありません。ただし、その中身の方が重要なのです。1か月(または2か月)後、冬休みにもう一度やってみてください。はたして、同じだけ、あるいはそれ以上の点数が取れるでしょうか。入試直前になって、思ったように問題を解くことができない自分に「こんなはずじゃなかった…」と焦り、自分を見失うようなことにはならないでほしいと願っています。

だからこそ言います。「この定期テストのために最大の努力をしよう」と。落ち着いた授業、前向きで協力的なクラスの雰囲気が、さらに良い雰囲気を作っていきます。しかし、提出物を出さなかったり、苦手教科から逃げていたり…人によっては不安要素があるのも事実。やるべきことをきちんとやり、向き合うべき自分としっかり向き合って、腰を据えて中学卒業後の自分像を描く……それが今ではないでしょうか。

今、人生初の「進路を決定する」という大仕事に真正面から向き合い、「**頑張ることができる自分**」を手に入れることができたなら、たとえ高校進学の際には結果が出なかったとしても、人生という進路において必ず大成します。